

高知バッハカンタータフェライン 第13回演奏会

J.S.バッハ ミサ曲 口短調 BWV 232

◆とき：2010年 3月7日(日)
午後1:30開場・2:00開演

◆ところ：高知市文化プラザ
かるぽーと大ホール

◆入場料：一般 2,500円
(当日 3,000円)
学生 1,500円
(当日 2,000円)

プログラム

J.S. バッハ作曲
「ミサ曲口短調」
BWV 232

出演者

指揮・バス：小原浄二
コンサートマスター：蒲生克郷
ソプラノ1：井村安里・岡村由紀
ソプラノ2：岡本光世
アルト：小原伸枝・志田理早
テノール：大島博
バス：小原一穂
管弦楽と合唱：高知バッハカンタータフェライン

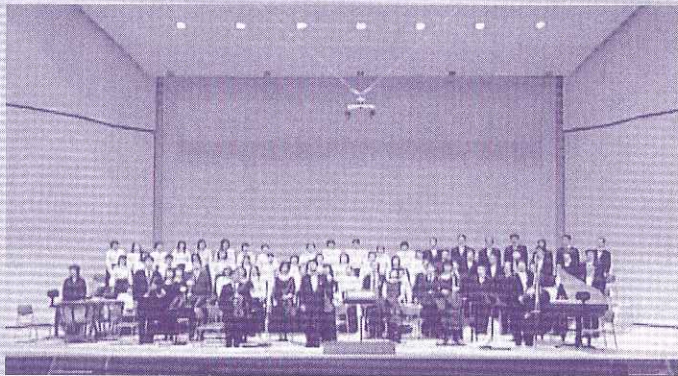
◆主催：高知バッハカンタータフェライン
◆後援：財高知新聞厚生文化事業団・高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・NHK高知放送局・RKC高知放送
KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知・読売新聞高知支局
◆チケット前売り：かるぽーと・高知プレイガイド・美術館ミュージアムショップ・楽器堂オーバースイオン店
◆お問い合わせ：TEL 088-840-6864 (高知バッハカンタータフェライン)

KOCHI BACH KANTATEN VEREIN

高知バッハ カンタータフェライン

[合唱・管弦楽]

高知バッハカンタータフェラインは、1997年4月高知大学助教授小原浄二氏の呼びかけにより、J.S.バッハを中心とするバロックおよび古典の音楽作品を研究・演奏する団体として発足。メンバーは合唱経験も年齢も多種多様ですが、小原氏の指導のもと心を一つに練習に励んでいます。1998年3月の第1回演奏会以来、毎年春に演奏会を開催。バッハのカンタータ多数・ヨハネ受難曲・モテット、モンテヴェルディやシュッツ等の作品を取り上げ、“土佐の地にもバッハを”の想いと共に意欲的な活動を行っている。2002年にはドイツから初来日したライプツィヒ・バロック・オーケストラと共演し、コンサートマスターより「光を放つような素晴らしい合唱」と高い評価を得ました。また、その縁から2004年夏にはドイツ演奏旅行を果たし、アイゼナハ・アイスレーベン・ライプツィヒなどバッハゆかりの地での演奏会に出演、その暖かい音色と確かな表現力は現地でも絶賛されました。更に2008年、第2回ドイツ演奏旅行を実現し、三都市での演奏会はいずれも好評を博し、聴衆より「これまで経験したバッハ演奏の中で、最も心に響くものだった」「大変内容の濃い演奏であり、深く感動した」などの賞賛を得ました。

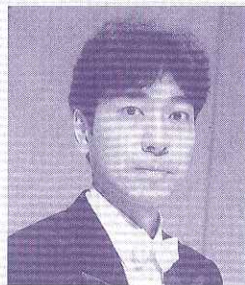


合唱団の創立から12年余りが経過し、今回、満を持して取り上げるのは、バッハの遺作と言われるロ短調ミサ曲です。この作品の存在は、バッハを愛する者にとって素晴らしい宝物であるのは勿論のこと、バッハや合唱音楽に馴染みの薄い方にさえ、大いなる贈り物であると言えます。18の合唱曲と9の独唱曲からなる、演奏に2時間半を要する大曲は、全力で磨き続けなければ見えてこない深い輝きを湛えています。聴いて下さる皆さんと共に、その輝きに出会うことができるよう、精一杯演奏させていただきます。

CHORUS & INSTRUMENTAL MUSIC

小原 浄二

[指揮]



岩手大学教育学部卒業後、東京芸術大学音楽学部音楽科に進学し首席で卒業。松田トシ賞受賞。同大学院修士課程独唱科修了。声乐を、佐々木正利、伊藤亘行、多田羅迪夫の各氏に師事。ドイツリート、オラトリオを中心に研鑽を積み、東京芸大時代には小林道夫氏のもとバッハカンタータクラブに所属し、研究・演奏を行う。その後、国内外の演奏会にソリストとして出演。1991年にはウィーン楽友協会ホールにおいて、ブラームスの「ドイツレクイエム」また1993年にはシュ

トゥットガルト、ケルン、ドレスデン、ワイマール等において、フォルトナー「ヘルダーリンの詩による歌曲」を歌い好評を博す。1992～1994年には、鈴木雅明氏が音楽監督を務めるバッハコレギウムジャパンのコーラスマスター及びソリストとして活躍。1994年～1995年ドイツ留学し、H.クレッチマル氏に師事。留学中も積極的に演奏活動を行い、特に、ミュンヘン、ヘラクレスホールにおけるニュルンベルク交響楽団定期公演、J.ツィルビ指揮、ハイドン「天地創造」バスソロなどは、現地新聞紙上において絶賛される。帰国後も全国各地に招かれソロ活動を行い、宗教音楽の世界的名指揮者である、H.J.ロッチュ、G.Ch.ビラー等との共演や、新日本フィルハーモニー交響楽団定期公演における、G.ボッセとの共演のほか、関西フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、スウェーデン放送合唱団との共演などで高い評価を得ている。

現在、高知大学教育学部准教授。高知バッハカンタータフェライン指揮者。アンサンブル《BWV2001》メンバー。

CONDUCTOR

蒲生 克郷

[コンサートマスター]



東京芸術大学卒業。NHK・FM「タベのリサイタル・新人演奏会」に出演。1976～78年渡独。ヒルデスハイム市立歌劇場管弦楽団奏者、ヒルデスハイム室内管弦楽団コ

ンサートマスターを務める傍ら、ヴェルツブルク音楽大学にて研鑽を積み。帰国後は室内楽奏者として憩弦楽四重奏団、東京バロックアンサンブル、東京バッハアカデミー、久合田緑弦楽四重奏団などで活躍する一方、東京芸大バッハカンタータクラブ、盛岡バッハカンタータフェライン、盛岡バッハアンサンブルの指揮者を務めた。1987～88年神戸女学院大学講師。現在、東京芸術大学管弦楽研究部講師、及び同部「芸大フィルハーモニー」コンサートマスター。エルデーディ弦楽四重奏楽団第1ヴァイオリン奏者。アンサンブル of トウキョウメンバー。水戸バッハコレギウム、日立室内アンサンブル、水戸ジュニアオーケストラ、ひたちジュニア弦楽合奏団各指揮者。多久興、海野義雄、ボリス・ゴールドシュタインの各氏に師事。

CONCERT MASTER